

令和3年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：37507

学校名：新陵中学校

改訂のポイント

- 互いに考えを伝え合い、自らの考えを深める活動を通して、学ぶ喜びを実感し、目標をもたせるような授業改善を行う。
- 指導の工夫と改善により、学ぶことの意義や大切さに気付かせ、自ら学ぶ習慣づくりを推進する。

| 項目名 | 項目内容 | 項目内容の具体 | | |
|-----------------|--------------------|---|---|--|
| 目標 | 「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像 | <ul style="list-style-type: none"> ☆自ら課題を見つけ、主体的に解決していくことができる生徒。 ☆他者の考えから学び、学んだ力を生かすことができる生徒。 | | |
| 「学ぶ力」に関する成果や課題 | 学ぶ意欲 | 【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での学習につながる指導の工夫改善と、学校と家庭が一体となった「習慣づくり」「環境づくり」を推進する。 ・生徒が自ら課題をもち、主体的に解決する「課題探求的な学習」を取り入れた授業づくりを進める。 | 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ⇒わからないことはそのままにせず分かるまで努力しようとする生徒の割合が60%→72%、わからないことは自分で調べてはつきりさせようとする生徒の割合も67%→72%と改善した。 | 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ◇授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組んでいる生徒の割合が全市と比べて10ポイント以上低い。普段から計画を立てて勉強する生徒も15ポイント低い。目標をもたせ、計画的な学習の習慣を身に付けさせる。 |
| | 思考力・判断力・表現力等 | 【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士の「学び合い」の場面を生かし、自分の考えを発信する力を高める指導の工夫と改善を行う。 | 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ⇒自分の考えがうまく伝わるように話の内容や順序を考える生徒の割合が65%→71%、意見の違う人ともよく話し合おうとしている生徒の割合は57%→87%と大幅に向上した。 | 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ◇自分の意見を進んで発表する生徒の割合は全市と比べ10ポイント以上低い。身に付けた知識や技能を活用して考え、進んで発言できる生徒を育てるために、学びの充実感を得られるような学習活動を推進する。 |
| | 基礎的・基本的な知識及び技能 | 【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が「繰り返し学ぶ」ことを通して、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。 ・少人数指導なども活用しながら、「個に応じた指導」の充実を図る。 | 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ⇒新しく習ったことは繰り返し練習する生徒の割合は42%→50%、わからないことは友達や先生に聞くようにしている生徒の割合は67%→84%に向上した。 | 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ◇反復練習や自ら調べようとする意識をさらに高め、家庭学習の「習慣づくり」「環境づくり」を推進するため、学校と家庭との一層の連携を図る。 |
| 今年度の具体的な改善策（取組） | 取組の最重点 | 【取組の共有】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「主体的に学習に取り組む態度」の指導と、評価の充実を中心とした授業改善 </div> | | |
| | 具体的な改善策（取組） | <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が自ら課題をもち、主体的に解決する「課題探求的な学習」を取り入れた授業づくりを進める。 ○生徒同士の「学び合い」の場面を生かし、自分の考えを発信する力を高める指導の工夫と改善を行う。 ○生徒が「繰り返し学ぶ」ことを通して、生きて働く知識・技能の習得につなげる。 ○家庭での学習につながる指導の工夫改善と、学校と家庭が一体となった「習慣づくり」「環境づくり」を推進する。 ○少人数指導を活用しながら、「個に応じた指導」の充実を図る。 ○ICT（1人1台端末等）を活用した学習活動を充実させる。 | | |
| 方法検証の | 各種調査や子どもの自己評価指標の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査や学力テストの結果、英検I B Aテストの結果等を活用。 ○各教科の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用。（日常のテストやノート、レポート、及び「振り返りシート」等） ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）と授業づくりの「6つのセルフチェック」の活用。 | | |